



ひとつぶの種

杭州日本人学校
学校便り第109号
平成29年6月号

『まもなく梅雨を迎えます』

今年日本では、早くも真夏日を迎えた地域が多くあり、中には梅雨入り前に猛暑日を観測した所もあるようです。首をかしげたくなるような最近の気候ですね。ここ杭州市でも徐々に暑い日が増えてきました。日本以上に暑いと言われる、杭州市の梅雨の後の夏。今年はどうでしょうか。本校の子供たちは、そんな季節の変化もなんのその、元気いっぱいです。



さて、まずのご報告です。去る5月6日(土)の授業参観、PTA総会、バス会総会、親睦ランチに多数の保護者の皆様にご参加いただき、本当にありがとうございました。阿部会長を中心に、「平成29年度杭州日本人学校PTA活動」がいよいよスタートしました。今年度より幼稚部が正式認可となったことに伴い、PTA活動にも参加します。規約も新しくなり、これからは一員としてよろしくお願いします。会員の皆様におかれましては、秋の運動会、学習発表会などの重要な学校行事へのご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

5月24日から26日まで、西安へ2泊3日の修学旅行に行ってきました。6年3名(男子1名女子2名)、8年2名(男子2名)の合計5名の参加で教職員3名の引率でした。蕭山空港から西安空港までは、機内食を頂くなど快適な空の旅でした。空港でガイドさんと運転手さんにあいさつした後、1日目は城壁サイクリングを楽しんで、ホテルにチェックイン、夜は餃子をおいしくいただきました。2日目は秦の始皇帝陵、兵馬俑の見学の後、刀削麺の昼食を楽しみ、午後は兵馬俑製作体験、歴史博物館・大雁塔の見学とスケジュールに沿って過ごしました。3日目は西安碑林の見学と拓本体験、西安空港への移動の後、空港内で昼食をとり、搭乗・杭州に戻りました。3日間の集団行動では互いへの思いやりを身に付け、成長した姿で帰ってくることができました。



今年も本校では、「日中友好のアサガオ」を育てています。この種は、中国最後の皇帝：溥儀の弟「溥傑」さんが1961年日本から北京へ移られた時、日本の美しいアサガオの種を自宅の庭に植え、日中友好と平和の願いを込めて育てられたアサガオの子孫にあたります。昨年より中国地区日本人学校校長研究協議会でこの「日中友好のアサガオ」を中国全土の日本人学校で育てていこうと決定し、現在中国国内13校で育てています。「溥傑・浩」夫妻の日中友好への熱き思いを継承し、将来、子どもたちが「日中友好の懸け橋」になってくれることを願っています。本校のアサガオは、いよいよ本葉とつるが出てきました。夏になって、美しい花が咲くのを楽しみにしています。

